

計議第313号議案

京都都市計画(京都国際文化観光都市建設計画)
ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)の変更(京都市決定)
(7号 京都市魚アライサイクル施設の廃止)

令和3年9月

京都市

魚アラのリサイクルについて

【京都市の循環型社会構築に向けた取組】

京都市循環型社会推進基本計画では、「食品廃棄物や木質ごみ等のバイオマスのリサイクルの促進」を重点施策として位置付けており、民間との連携・協力のもと、「**ごみの出ない循環型社会**」の実現に向けて、積極的にリサイクルを進めています。

【魚アラ】



魚介類から可食部分を取り除いた頭や骨、内臓などの総称

リサイクル



【魚粉】



養殖業や畜産業のえさとして活用

【魚油】

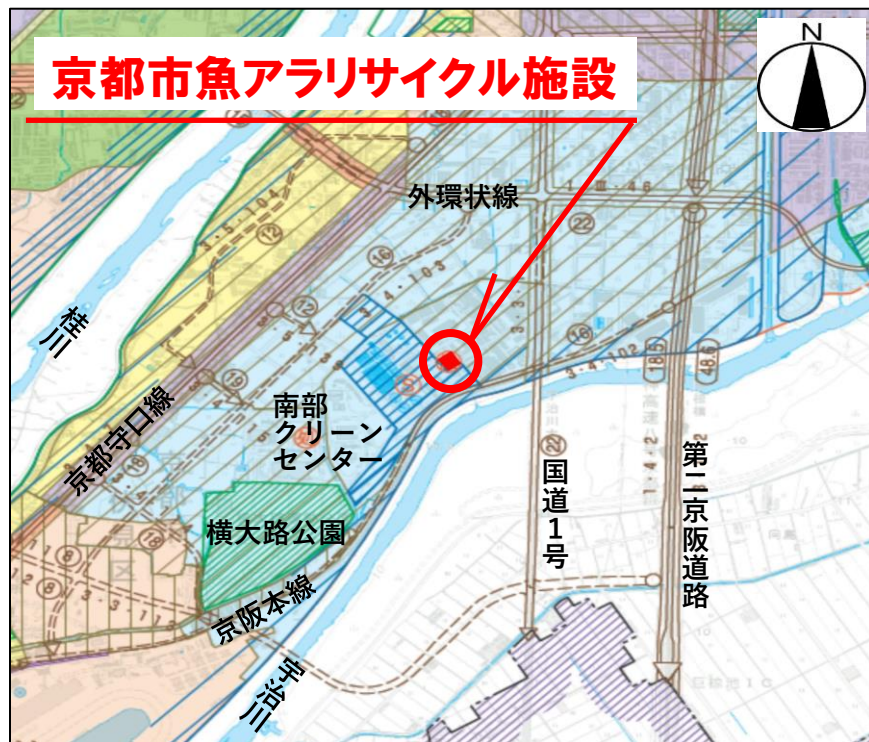


燃烧用燃料として活用

市場やスーパー等から排出される魚アラについても、単にゴミとして焼却処分するのではなく、積極的にリサイクルを進めています。

京都市魚アラリサイクル施設の概要

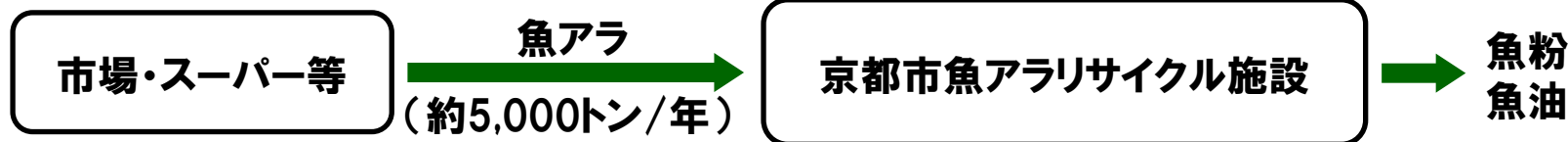
【都市計画決定の概要】



魚アラのリサイクルを推進し、環境保全対策に万全を期すため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく一般廃棄物処理施設に位置付け、平成17年7月に「ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)」として都市計画決定

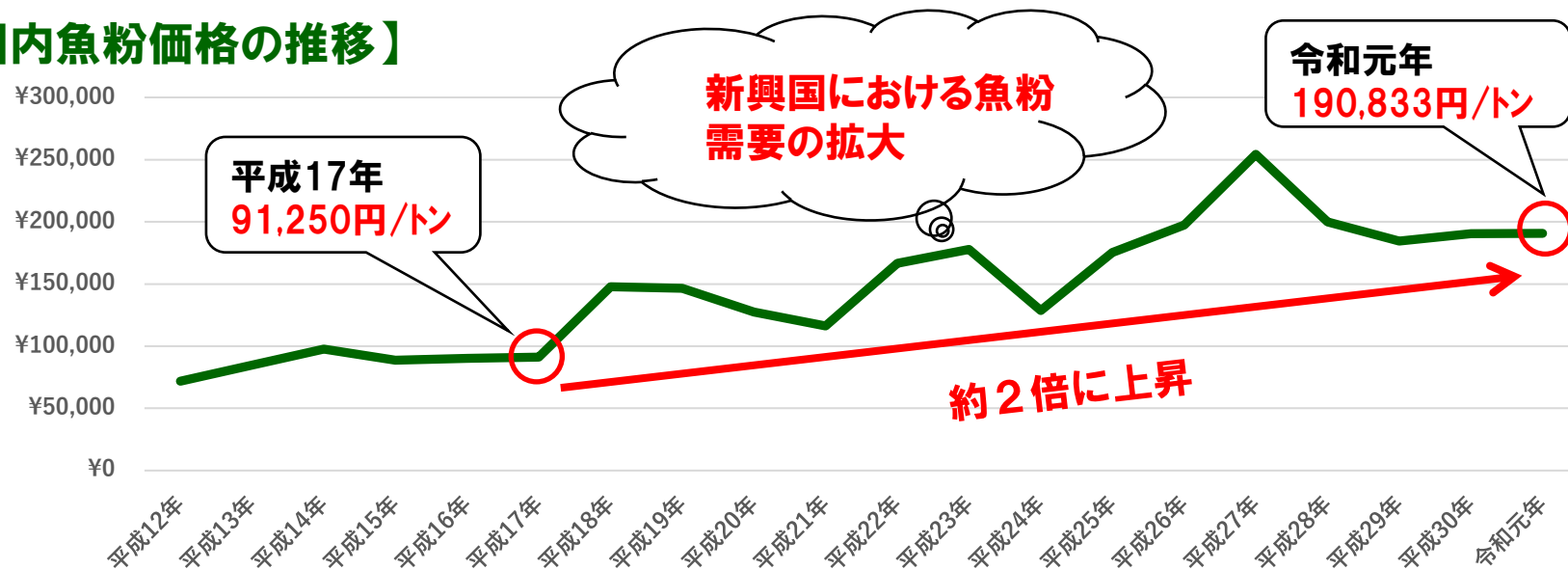


【施設の運用状況】 <平成20年4月に操業開始>



社会情勢の変化

【国内魚粉価格の推移】



資料：「水産油脂統計年鑑」

【都市計画決定(平成17年)当時】

- ・魚粉価格が低水準
- ・市域で排出される魚アラを処理する民間事業者がない
- ・市内唯一の処理施設として、京都市魚アラリサイクル施設で魚アラのリサイクルを実施

【現在】

- ・新興国における魚粉需要の拡大
- ・魚粉価格が上昇傾向で推移
- ・全国的な規模で民間事業者による魚アラリサイクルが進められる

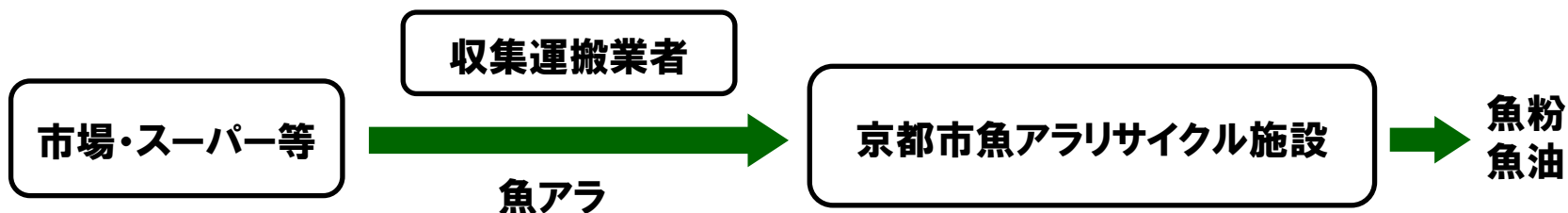


民間事業者が主体となった魚アラリサイクルの取組へ転換

新たな魚アラリサイクルの仕組み

民間事業者が主体となった取組への転換に当たっては、**持続可能で安定的かつ確実な魚アラリサイクルを担保**するため、官民協働の取組のもと、新たな魚アラリサイクルの仕組みを構築しました。

【これまでの魚アラリサイクルの仕組み】



【新たな魚アラリサイクルの仕組み】



- ※民間事業者はプロポーザル方式で京都市が選定
- ※京都市，民間事業者，収集運搬業者で協定を締結

都市計画の廃止理由

魚アラリサイクルを取り巻く社会情勢の変化



- ・魚粉価格の上昇
- ・民間事業者による全国規模での魚アラリサイクルが確立

新たな魚アラリサイクルの仕組みを構築



- ・民間事業者が主体となった魚アラリサイクルの取組へ転換
- ・官民協働の取組のもと、
持続可能で安定的かつ確実な魚アラリサイクルを担保

都市計画決定した際の役割を担う必要性がなくなる



京都市魚アラリサイクル施設の都市計画を廃止